

令和2(2020)年2月6日

## 山形大学と明治大学が包括協定を締結

### 【本件のポイント】

- 教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、日本の教育・研究の一層の進展と次世代を担う人材の育成に資することを目的。
- 就職活動支援等の学生支援、EM（エンロールメント・マネジメント）やIR（インスティテューショナル・リサーチ）の分野での連携を強める。
- 山形大学が私立大学と包括協定を締結するのは今回で2例目。



### 【概要】

山形大学（学長：小山清人）と明治大学（学長：土屋恵一郎）は教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、わが国の教育・研究の一層の進展と次世代を担う人材の育成に資することを目的として、大学間交流に関する包括協定を令和元(2019)年12月26日に締結しました。協定期間は、5年間。  
今後、本協定に基づき、学生・教職員の交流をはじめ、両大学の連携を推進します。

### 【協定締結の経緯】

山形大学と明治大学は、ともに日本全国から学生が集まる総合大学です。

山形大学は「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を3つの使命として掲げ、教育研究、地域貢献に全力で取り組んでいます。

明治大学は、創立者のひとり、宮城浩蔵氏の出身地である天童市と2010年に締結した連携協力協定のもとで、学生のフィールドワークや市民公開講座などを実施してきました。

地域創生には、都市圏との交流が不可欠なものであるという共通認識を持っており、双方の強みを活かして連携することにより、次代を担う人材育成と両大学の教育研究の発展、ひいては地域の発展に寄与するものと考え、今回の包括協定の締結に至ったものです。

※山形大学：6学部、7研究科。山形県内に4つのキャンパスを持つ。学生数は約9千人。

明治大学：10学部、16研究科（うち4研究科は専門職大学院）。東京都を中心に4つのキャンパスを持つ都心型大学。学生数は約3万3千人。

山形県出身の学生が1学年あたり20名程度在籍。Uターン率は2割弱。

(2019年5月現在)

### 【今後の取り組み】

以下のような連携を予定しており、今後、具体的な調整を進めてまいります。

- (1) 就職活動支援、インターンシッププログラムへの受入・派遣
- (2) IR担当者向け実践プログラムの開講
- (3) 学生の交流（フィールドワークでの受入・派遣）
- (4) 教職員の交流（FD・SDの共同実施、職員の受入・派遣）
- (5) 研究者の交流（共同研究、研究成果発表会の共同開始）

## 【協定の内容について】

締結日：令和2(2020)年12月26日

目的：山形大学と明治大学は教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、わが国の教育・研究の一層の進展と次世代を担う人材の育成に資することを目的とする。

期間：締結日から5年間（更新有り）

連携事項：（1）学生の交流  
（2）教職員の交流  
（3）共同の教育、研究プロジェクト  
（4）施設の相互利用  
（5）その他本協定の目的を達成するために必要な事項

お問い合わせ

山形大学 教育・学生支援部学務課（松田）

TEL 023-628-4840 メール k-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp